長野県家畜改良協会

長野県家畜改良協会について

乳牛は、妊娠し分娩しないとお乳が出ません。牛肉を得るためにも肥育元となる子牛を分娩させることから始まります。このように家畜の増殖には繁殖(妊娠)が不可欠です。

現在、乳牛・肉牛の繁殖は、ほとんどが人工授精によって行われています。つまり、日本で生まれるほとんどの牛が人工授精によって妊娠しているということです。

本会は、家畜の人工授精の資格を有する「家畜人工授精師」による団体で、能力の高い優れた家畜の安定的な増殖による畜産経営の支援のための家畜人工授精技術の向上と家畜改良事業の推進に取り組んでいます。

活動の概要

★ 研修会、講習会による技術向上活動
★ 県、全国の技術発表会への参加
★ 人工授精に関する情報調査
★ 牛凍結精液の保管・配布業務
★ 優良な種雄牛造成のための検定業務
★ 全国組織(日本人工授精師協会)との連携
★ 県及び関係団体行事への参加・協力
★ 畜産振興施策への協力

本会組織

（支　部）５支部
上田・伊那・飯田
中信・長野
（役　員）会　長：宮澤　俊哉
副会長：秦　　豊文
副会長：清水　義和

事務局：長野県長野市大字中御所字岡田 30-9（一社）長野県畜産会内　担当：池田
TEL:０２６－２２８－８８９０　　FAX:０２６－２２３－０２６４